

# となみ授業スタンダードⅡ

R5.3

砺波市教育センター

## 【自立した学習者が育つ教室】

- ①居場所があり、あたたかみを感じる教室
- ②分からないことを自由に相談できる教室

学習の流れ	授業力アップのポイント					
導入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; background-color: #f0e6ff;"> <b>考えてみたいと思える学習課題の提示</b> </div> <p>【学習の見通しをもつ】 約7割の子供が「解けそうだ」と思えるようにする。</p> <p>【ゴールの姿をイメージできる】 学習課題を具体的な行動目標で表す。 「～について考え、〇〇にまとめよう」「～と～を比べ、説明しよう」</p>					
学び合い	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; background-color: #f0e6ff;"> <b>個の学びを深めるための場の工夫</b> </div> <p>自分の考えをもつための「静の時間」とアウトプットする「動の時間」を効果的に組み合わせる。</p>					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">個別</th> <th style="text-align: center;">小集団</th> <th style="text-align: center;">全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">                     何を考えさせるのかを明確にする。                       ・机間指導で、状況を確認する。                 </td> <td style="vertical-align: top;">                     話合いの視点・方法を明確にする。                       ・全体を見渡して、必要な小集団に支援する。                 </td> <td style="vertical-align: top;">                     教師は、ファシリテーターとなる。                       ・考えを比較・分類・整理し、構造的な板書で可視化する。                 </td> </tr> </tbody> </table>	個別	小集団	全体	何を考えさせるのかを明確にする。  ・机間指導で、状況を確認する。	話合いの視点・方法を明確にする。  ・全体を見渡して、必要な小集団に支援する。
個別	小集団	全体				
何を考えさせるのかを明確にする。  ・机間指導で、状況を確認する。	話合いの視点・方法を明確にする。  ・全体を見渡して、必要な小集団に支援する。	教師は、ファシリテーターとなる。  ・考えを比較・分類・整理し、構造的な板書で可視化する。				
まとめ 振り返り	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; background-color: #f0e6ff;"> <b>学習の成果を自覚する時間の確保</b> </div> <p>【ま と め】本時の学習課題に対する学びのまとめ ・子供の言葉を生かす。</p> <p>【振り返り】学習内容や学び方等、学びの過程の振り返り ・新たな気付きや自分の成長を書く時間を5分程度確保する。</p>					

## 【自立した学習者が育つ職員室】

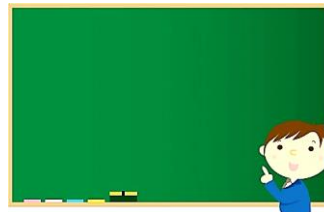
- ①居場所があり、あたたかみを感じる職員室
- ②分からないことを自由に相談できる職員室

## 授業の心得

赤番号：内容の変更

### 【子供が落ち着く環境】

- ① 教室前面の掲示物は**必要最小限**にしています。
- ② **黒板全面**が使えるようになっています。
- ③ 子供の机の中・横は、必要な物を**精選**しています。
- ④ 黒板前に教卓等を置いていません。  
教師の机上・棚等は、**整然**としています。
- ⑤ 廊下等は、**すっきり**しています。



### 【教師の大切な役割】

<導入>

- ⑥ **テンポよく短時間**で行っています。  
※前時の確認、前時の適応問題の活用、映像の活用

<学び合い>

- ⑦ 子供が必要に応じて、**自由に席を離れて**相談できるようにしています。
- ⑧ 個別指導しながらも、**絶えず子供たち全体**を見えています。  
※机間指導で立ち止まる時間は、原則10秒程度
- ⑨ **子供同士が関わる工夫**をしています。  
※発表者の考えを別の子供が説明
- ⑩ 発言に対する周囲の子供の反応を**観察**し、タイミングよく板書しています。
- ⑪ 板書は見やすい文字の大きさと、**端的**に書いています。

<まとめ・振り返り>

- ⑫ 学習の成果をまとめ、振り返る時間を**必ず確保**しています。

<授業全般>

- ⑬ **笑顔**を心がけ、子供と目で**キャッチボール**をしています。
- ⑭ 声や表情に**変化**をつけ、**丁寧**な言葉で話しています。
- ⑮ 無駄な言葉を削る**努力**をしています。  
※タイムマネジメントの意識、一問一答の防止
- ⑯ 「**間**」を意識した話し方を心がけています。  
※全ての子供の思考時間の確保
- ⑰ 気になる子供へ**継続**して声かけをしています。  
※「声かけがないこと＝してもよい」というメッセージ



### 【GIGA に関する手立て】

- ⑱ タブレットは机の横等の近くにあり、子供自らが**必要に応じて**使えるようになっています。
- ⑲ ソフトの操作等、子供同士で**教え合う関係**をつくっています。
- ⑳ 黒板と電子黒板、ノートとタブレットの**効果的な使い分け**を心がけています。
- ㉑ タブレット端末を利用して、一人一人の**考えを把握**しています。